# 2025年度募集　さきがけ「生命力の二面性」提案書

**※提案書作成時、青字の記載ガイドは削除してください。**

・以下の事項が遵守されていない場合、研究提案が不受理となることがあります。

・すべての様式の書式設定、スタイル設定、行間サイズは変更しないでください。

・すべての様式の本文のフォントサイズは10.5ポイント以上（厳守）としてください。

・e-Radにアップロードされた提案書に評価を困難とする不備がある場合は、不受理といたします。「評価を困難とする不備」とは、提案書各様式の抜け、査読を困難とする文字化け、提案書記載項目の重大な記載漏れ等を指します。なお、JSTは、提案の受理・不受理を問わず、募集締切時刻までに発生する提案書の不備についての一切の責任を負いません。従って、募集締切時刻までに、JSTは研究提案者に事前確認のうえでの提案書の訂正もしくは、研究提案者に対する訂正依頼行為の一切を行わないことにつき、予めご承知おきください。また、募集締切後のe-Rad上での引戻し処理はできません。

・e-Rad入力情報について、提案書の記載と相違が認められた場合は、提案書の記載を正として取り扱います。

# 様式1　基本事項

* **様式1はA4用紙1ページ以内（厳守）**としてください。

|  |  |
| --- | --- |
| 提案先研究領域名 | 時空間マルチスケール計測に基づく生物の復元あるいは多様化を実現する機構の解明 |
| 研究課題名（20字程度） | ※英語課題名の場合は、日本語の課題名（20字程度）を併記してください |
| 研究提案者氏名 |  |
| 所属機関・部署・役職 | ※「大学院〇〇研究科」「特任准教授」等、略さず正しく記入してください。「大学院」の表記漏れにご注意ください。 |
| 研究期間 | 2025年10月 ～ 年 月 (　　　年間) |
| 研究費総額 | 全研究期間での研究費総額　（　　　千円）  ※小数点は記入しないでください。また、単位は【千円】ですのでご注意ください。「募集・選考・領域運営にあたっての研究総括の方針」に定める研究費の上限を超えていないことを確認してください。 |
| 委託研究費を執行する機関（JSTとの契約予定先） | 現所属機関  その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 研究概要 | * 本提案の目的および実施内容の概要を簡潔にまとめ、200字以内で記入してください。 |

# 様式2　研究構想

* **様式2は、A4用紙2ページ以内（厳守）**としてください。
* 評価者が理解しやすいよう、必要に応じて図表(カラー可)を用いて記載してください。
* 以下の観点から評価を行います。

さきがけ及び研究領域の趣旨に合致し、研究領域が目指す成果の創出が期待されること。

* 募集要項「序章　(1)　研究提案を募集する研究領域」及び提案先研究領域の募集方針（研究提案募集ウェブサイト）https://www.jst.go.jp/kisoken/boshuu/teian/top/ryoiki.htmlを必ずご確認ください。
* 提案先の研究領域の趣旨を踏まえたうえで、本研究構想に至った背景や目的、将来展望について具体的かつ明確に記載してください。
* 必要に応じて研究・活動実績（様式5）の記載内容を適切に引用し、研究・活動実績と本研究構想との関係が明確になるようにしてください。引用にあたっては、研究・活動実績にて示した論文・著書番号（様式5）を用いることもできます。
* 同一研究領域へ複数回の応募となる場合は、前回の提案との相違点をご記載ください。

# 様式3　提案の独創性・優位性

* **様式3は、A4用紙1ページ以内（厳守）**としてください。
* 評価者が理解しやすいよう、必要に応じて図表(カラー可)を用いて記載してください。
* 以下の観点から評価を行います。

国内外の動向等を踏まえ、提案内容が独創性・優位性を有していること。

* 関連分野の国内外の研究、社会情勢等の現状と動向を踏まえて、世界の中での本提案の独創性や独自性、優位性を明確に示してください。
* 必要に応じて、競合研究の具体的な内容にも触れて説明してください。また、研究提案者自身のこれまでの研究の成果、研究構想を実現する基盤となる施設・設備、その他の予備的な知見やデータ等の準備状況にも触れて説明してください。

# 様式4　目標・実施計画

* **様式4は、A4用紙3ページ以内（厳守）**としてください。
* 以下の観点から評価を行います。

実施期間内に達成する目標、実施計画及び予算計画が具体的かつ適切であること。

* 本提案書では予算計画についての記載は不要です。面接選考の対象となった際には、研究費計画の提出を求めます。

## 1．研究期間終了時の達成目標 *※100字以内（句読点含む）*

* 研究期間終了時点での研究成果の目標を記入してください。

## 2．研究計画とその進め方

* 評価者が理解しやすいよう、必要に応じて図表(カラー可)を用いて記載してください。
* 目標の達成に向け、具体的な研究内容や計画を記載してください。全体としてどのようなアプローチ（予想される問題点とその解決策を含む具体的手法、進め方）をとり、どのようなスケジュール、マイルストーン(研究途上での節目となる到達点・達成事項、研究の達成度の判断基準とその時期)を設定し、研究を実施するのかわかるように記載してください。
* 必要に応じて、想定される知的財産権の利活用方針（出願・権利化・ライセンス等）について、現在の関連知的財産権の取得状況を踏まえて記載してください。

# 様式5　研究・活動実績

* **様式5は、A4用紙3ページ以内(厳守）**としてください。
* 以下の観点から評価を行います。

提案内容の遂行に必要な活動実績及び責任能力を有していること。

**(1)　研究者情報等**

|  |  |
| --- | --- |
| 研究歴  (主な職歴と研究内容) | 20XX年 ◯◯大学大学院◯◯研究科博士課程○○専攻修了  (指導教官：○○○○教授)【教官名記入必須】、博士(○○学)取得  20XX年～20XX年 ◯◯大学◯◯学部 助手  ○○教授研究室で◯◯◯◯◯について研究  20XX年X月～20XX年X月 出産・育児休業  20XX年～20XX年 ◯◯研究所 研究員  ○○博士研究室で◯◯◯に関する研究に従事  ※所属した研究室の室長等の記載は必須です。  ※考慮すべきライフイベント（出産・育児・介護等）の期間があれば、記載してください。（記載は必須ではありません。過去の研究実績に影響があったなどの理由で評価者に伝えたい場合のみ記載してください。） |
| 研究者情報 | URL:  ※researchmapのURLを記入してください。なければ、研究・活動実績等の情報を収載しているサイトのURLを記入してください。  ※評価において、評価者が必要に応じて参照します。 |
| 英語論文での著者表記 | ※フルネームで正確に記入してください。  ※評価において、評価者が必要に応じて参照します。 |

**(2)研究・活動・マネジメント実績（10件以内）**

* 学術論文、著書、国際会議のプロシーディングス、主要な国際会議の招待講演、受賞、特許、ライセンス、起業、データセット、ソフトウェア、標準化、過去の研究代表の実績やマネジメント実績、そのほか研究提案者の研究分野や提案内容に関連する実績や成果などが想定されます。提案内容との関連性が高いものを優先的に記載してください。
* 記載する件数は10件以内とし、提案内容の遂行に対する各実績の重要性がわかるように、それぞれに簡潔な説明を加えてください。
* 可能な限り客観的、定量的な説明となるようにしてください（JIFやh-index等の記載を求めるものではありません）。
* 学術論文の場合は論文名、著者名（全著者を記載し研究提案者に下線）、掲載誌名、DOI、巻号や頁等、発表年（西暦）、著書の場合はその書誌情報などを明記してください。既に掲載されているもの又は掲載が確定しているものに限って記載してください。著者は、T.Gijyutsu等と略記して構いません。
* 特許は出願番号・発明者・発明の名称・出願人・出願日を記載してください。

＜記載イメージ＞

* 記載イメージです。活動・実績を10件以内で項目を立て、自由にアピールしてください。
* 関連の深い複数の論文や特許等について共通する項目を立て、1件とすることも可能です。

1. ○○に関する解明

実績・成果の重要性、研究提案者の役割、本提案との関連等についての簡潔な説明

1. ○○に関する特許

出願番号・発明者・発明の名称・出願人・出願日概要、重要性、研究提案者の役割、本提案との関連等についての簡潔な説明

1. ○○賞受賞

○○年○○財団受賞理由、賞の学術的あるいは社会的評価、重要性など

1. ○○に関する研究コミュニティへの貢献、アウトリーチ活動

国際会議のプロシーディングス、主要な国際会議の招待講演、研究者間のネットワーク構築、市民との対話などにおける研究提案者の役割、本提案との関連等についての簡潔な説明

# 様式6　他制度での助成等の有無と相違点・関連性

* 研究提案者が、現在受給している、あるいは申請中・申請予定の競争的研究費やその他の研究費(国外も含め、補助金や助成金、共同研究費、受託研究費等、現在の全ての研究費であって個別の研究内容に対して配分されるもの（＊）)について、研究課題ごとに、研究課題名、研究期間、役割、本人受給研究費の額、エフォートと本提案研究との相違点・関連性を記入してください。募集要項「6.2 不合理な重複・過度の集中に対する措置」、「第7章 戦略的創造研究推進事業内における重複応募の制限について」もご参照ください。

（＊）応募に当たっては、「統合イノベーション戦略2020」において「外国資金の受入について、その状況等の情報開示を研究資金申請時の要件」とすることとされたことを踏まえ、国内外を問わず、競争的資金のほか、民間財団からの助成金、企業からの受託研究費や共同研究費などの研究資金について全て記載してください。

* 記載内容が事実と異なる場合には、研究課題の不採択等を行うことがあります。
* 面接選考の対象となった場合には、他制度への提案書、計画書等の提出を求める場合があります。
* 締結済の秘密保持契約等の内容に基づき記載することができないなど、やむを得ない事情により記載が難しい場合は、エフォートのみ記入してください（評価の際に外部の専門家に提供されますので記載にはご留意ください）。
* 現在受給中または受給が決定している助成等について、本人受給研究費(期間全体)が多い順に記載してください。その後に、申請中・申請予定の助成等を記入してください。
* 必要に応じて表、行を増減してください。

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **番号** | **制度・プログラム名**  **（配分機関名）** | **受給**  **状況** | **研究課題名**  **(代表者氏名)** | **研究**  **期間** | **役割**  **(代表/**  **分担)** | **本人受給研究費**  **（直接研究費）**  **(1) 期間全体**  **(2) 2025年度 予定** | **2025**  **年度**  **ｴﾌｫｰﾄ**  **(％)** |
| - | さきがけ  （本提案） | 申請 | - | 2025.10  － | 代表 | (1) 千円  (2) 千円 | 30 |
| 1 | 科学研究費 補助金 基盤研究(C)  （日本学術振興会） | 受給 | ××による◇◇の創成  (○○○○) | 2024.4  －  2027.3 | 代表 | (1) 1,000千円  (2) 500千円 | 10 |
| 2 | ××研究助成  （公益財団法  人○○財団） | 申請 | ××による◇◇の高機能化  (○○○○) | 2025.10  －  2027.3 | 分担 | (1) 900千円  (2) 400千円 | - |
| 3 |  |  |  |  |  | (1) 千円  (2) 千円 |  |

* 各項目の記載は以下に従ってください。

**（１）「受給状況」**　以下のいずれかを記入してください。

・受給：現在受給中または受給が決定している研究課題。

・申請：申請中または申請予定の研究課題。本申請を除き、「申請」に該当する研究課題についてエフォートは記入しないこと。

**（２）「役割」**　以下のいずれかを記入してください。

　・代表：その研究課題において、代表者として研究費を受給

　・分担：その研究課題において、代表者以外の立場で研究費を受給

**（３）「本人受給研究費」**　以下に従って、研究費（総額・年度別）を千円単位で記入してください。

（ア）代表者として研究費を受給した研究課題

「代表を務める研究チーム（共同研究チームは除く。研究チームが本人のみの場合は代表者本人）」が受給した研究費

（イ）代表者以外の立場で研究費を受給した研究課題

「本人が分担者のグループ代表者として所属する研究グループ（分担グループが分担者のみの場合は分担者本人）」が受給した研究費

**（４）「エフォート」**

「本提案が採択された場合、2025年度における全仕事時間(教育･医療活動等を含む)を100%とした場合、そのうち各研究課題の実施に必要となる時間の配分率（％）」を記入してください。本提案以外の申請中・申請予定の研究課題（受給状況に「申請」と記入したもの）については、エフォートは記入しないでください。

また、本提案のエフォートと、その他受給中の研究課題のエフォートとの合計が100%を超えないようご注意ください。

■番号（１）の課題と本提案研究との相違点・関連性

課題（１）においては、・・・・を実施する。一方、本提案研究では・・・を実施する。

よって、・・・・の点において目的が異なる。

■番号（２）の課題と本提案研究との相違点・関連性

課題（２）においては、・・・・を実施する。一方、本提案研究では・・・を実施する。

よって、・・・・の点において目的が異なる。

■番号（３）の課題と本提案研究との相違点・関連性

課題（３）においては、・・・・を実施する。一方、本提案研究では・・・を実施する。

よって、・・・・の点において目的が異なる。

　注）締結済の秘密保持契約等の内容に基づき記載することが出来ないなど、やむを得ない事情により記載が難しい場合は、その旨を記載してください

# 様式7　特記事項

* **様式7は、A4用紙2ページ以内(厳守）**としてください。

## 1．利益相反マネジメントにかかる申告

* 募集要項「第5章5.1.2(2)」に基づき、利害関係の有無について申告してください。記載にあたっては必ず該当箇所を参照してください。
* 評価者は、以下のウェブサイトを参照してください。

<https://www.jst.go.jp/kisoken/boshuu/teian.html>

**募集要項「第5章5.1.2(2)」に定める利害関係者の要件に関して、**

**該当なし　　　　　該当あり**

* 該当がない場合は、下記の表を削除してください。
* 該当する場合には、どの要件に該当するかも含めて、その理由を簡潔に記入してください。記載内容に基づき利害関係にあるとJSTが判断した評価者は、提案書査読の担当から除外され、書類選考会での発言は控えるとともに、面接選考会では対面しない措置を講じます。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **No.** | **該当する要件** | **該当する**  **評価者／機関** | **理由** |
| 1 | (1) d | △△　△△ | 〇〇プロジェクト（20XX年～20XX年）にて研究総括と共同研究を実施しており、利害関係者の要件のうち、(1)dに該当する。 |
| 2 | (1) b | ○○　○○ | 20XX年～20XX年にかけて領域アドバイザー○○氏が運営する研究チームに所属しており、利害関係者の要件のうち、(1)bに該当する。 |
| 3 | (2) | 株式会社○○ | 所属機関である株式会社○○は、JSTの出資先企業である。 |

* 募集要項「第5章5.1.2(2)」に定める利害関係者の要件は以下のとおりです。

(1) 選考に関わる者の利益相反マネジメント

研究提案者と提案先研究領域の評価者との利害関係の有無について申告してください。

a. 研究提案者等と親族関係にある者。

b. 研究提案者等と大学等の研究機関において同一の学科、専攻等に所属している者又は研究提案者等が所属している大学等もしくは大学等を経営する法人の役員その他経営に関与しているとみなされる者及び当該法人を代表して対外的に活動する者。ここでいう同一の学科・専攻等とは、最小の研究単位である研究室又は研究チーム等よりも一つ上のまとまりを指す。

c. 研究提案者等と同一の企業に所属している者又は研究提案者等が所属している企業の親会社等にあたる企業に所属している者。

d. 研究提案者等と緊密な共同研究を行う者。(例えば、共同プロジェクトの遂行、共著研究論文の執筆、同一目的の研究メンバー、あるいは研究提案者等の研究課題の中での研究分担者など、研究提案者等と実質的に同じ研究グループに属していると考えられる者)

e. 研究提案者等と密接な師弟関係あるいは直接的な雇用関係にある者。

f. 研究提案者等の研究課題と直接的な競争関係にある者。

g. その他JSTが利害関係者と判断した者。

(2) JST の利益相反マネジメント

研究提案者の所属機関がJSTの出資先企業に該当するか否かについて申告してください。なお、本マネジメントは JST の公正性及び透明性を担保するために実施するものであり、JSTから出資を受けていることが評価において不利に働くことはありません。JSTの出資先企業については下記ウェブサイトを参照してください。

<https://www.jst.go.jp/entre/result.html#M01>

## 2．（該当者のみ）海外研究機関での研究実施に関する確認事項

**（1）海外研究機関で研究を実施する理由**

* + 研究構想実現のために必要不可欠である理由を具体的に説明してください。
  + なお、所属機関を持つ（または、所属機関を持つ予定である）研究者のみ海外研究機関での研究実施が可能です。安全衛生管理等の観点から、海外研究機関でさきがけ専任研究者として研究を実施することはできません。

**（2）海外研究機関の研究契約担当部局責任者の連絡先**

　　　氏名・所属・Eメールアドレス・電話番号を記載してください。

**（3）事前確認事項**

**以下の項目について確認し、チェック欄へのチェックをお願いします。**

|  |  |
| --- | --- |
| 確認ポイント | チェック欄 |
| 研究実施場所となる海外研究機関は、以下について合意している。（詳細はCollaborative Research Agreementを参照のこと）   * JSTから支給される研究費の支出にあたっては、間接経費は直接経費の30％を超えない。 * JST所定の様式による会計報告書に研究費の使途を記載の上、提出する。会計報告書にはJSTが指定する支出項目を用いることを遵守する。 |  |
| （研究提案者が海外研究機関に所属するポスドクである場合）  所属研究室の上長は、本提案が採択された場合に、その研究を実施することについて承知している。 |  |

## 3．（専任研究者としての参加を希望する方のみ）兼業・兼務予定の有無等

* 募集要項「第3章3.2.7参加形態」をご参照のうえ、専任研究者としての参加を希望される方は、以下（１）～（４）について記入してください。面接選考時に詳細を確認させていただきます。
* シート「専任研究者の在籍出向について」の提出が別途必要です。

**(1) 研究開始までに現職を退職せざるを得ない理由**

**(2) 他機関への就職活動状況**

**(3) CREST・ERATO研究参加者との兼務の予定**

**(4) 他の研究費との兼業の予定**

## 4．その他特記事項

* 異動予定がある場合は、記載してください。現時点で異動先や異動時期等が未定の場合はその旨を記載してください。事務手続きのための情報として取り扱います。